

業 種	鉄道
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	固定式ホーム柵等の設置による旅客の事故防止に関する取組
取組の狙い	全駅に固定式ホーム柵等を設置することにより、ホームでの安全性向上を図る。
具体的内容	<p>静岡鉄道株式会社は、ホームからの転落検知装置、非常通報押しボタン、視覚及び音声による列車接近表示装置、ホーム上点状ブロック等の安全設備を各駅に設置していたが、視覚障害者を含む乗降客の列車接近時における安全性向上とホームからの転落を防止するため全 15 駅に固定式ホーム柵を設置する対策を講じた。</p> <p>1. 固定式ホーム柵設置の背景</p> <p>静岡清水線全 15 駅は、ホームドア又は可動式ホーム柵を優先して整備する際の基準（交通政策基本計画 平成 27 年 2 月 13 日）である 1 日の平均利用者数が 10 万人以上の駅には該当しないが、ホームからの転落防止・安全性の更なる向上を目的として固定式ホーム柵の設置に至った。設置は、視覚障害者の利用がある駅から優先的に開始し（平成 17 年度）、平成 27 年の御門台駅の設置により全 15 駅設置完了となった。</p> <p>設置に際しては、「静岡清水線及び固定柵の特徴」、「駅数・駅務者及び車両・運行の特徴」に配慮して検討を実施している。</p> <p>【静岡清水線及び固定柵の特徴】</p> <p>①保有車両の構造・寸法が統一されていること。 ②ホーム柵の設置が視覚障害者に対する安全対策として効果が見込まれること。 ③固定式ホーム柵が可動式ホーム柵より設置コストが安価であること。 ④利用者の少ない駅であること。 （最大で新静岡駅の約 19 千人/1 日：令和元年度乗降人員実績） ⑤編成の短い列車のみの路線であること。 ⑥ホーム長が短く、運転士からの見通しが良いこと。</p> <p>【駅数・駅務者及び車両・運行の特徴】</p> <p>駅数：15（終日有人 2、日中有人 7、無人 6 駅） 車両：2 両固定編成、増結無し、旅客用 3 扉、対面ロングシート 運行：最高運転速度 70 km/h、運転間隔 6～10 分、ワンマン運転 急行列車あり（令和 2 年 11 月末時点、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特別ダイヤにて運行中）</p>

2. その他の駅・車両等における安全設備

(1) 駅の監視機器の設置

監視カメラを各駅すべてのホームに設置しており、その画像は有人駅と運転指令室で視認・録画。

(2) 駅の遠隔監視体制の整備

無人駅などで旅客対応するための営業係員2名を2勤2休の勤務体制で配置。遠隔により旅客案内および券売機や改札機、駅舎のシャッターを操作している。

(3) 駅の指令運行表示システムの導入

新静岡駅と新清水駅においては、運転指令室の指令運行表示盤と同じデータをパソコン画面に映し出せるように工夫し、台風など自然災害、車両故障、踏切障害などによる列車運行の情報をいち早く入手し旅客案内などに活用。

(4) 車両運転台へドライブレコーダーを設置。

(5) 車両客室内への監視カメラの設置（新型車両A3000形のみ）

【駅における安全設備】



列車接近表示器



落下物検知装置



固定式ホーム柵（設置前）



固定式ホーム柵（設置後）

取組の効果

固定柵を設置したことにより、以下のとおり状況に変化が現れ、ホームの安全性が向上したと考えられる。

(1) 旅客の状況

①シルバーカーやベビーカーを利用する旅客は開口部ではなく、固定柵側で列車待ちをする傾向にある。

②旅客は固定柵を乗車・降車時の手すり代わりに活用している。

	<p>(2) 社内の状況</p> <p>③固定柵に注意喚起や案内の多言語サインを設置可能となった。</p> <p>④ホームが固定柵や転落検知センサーに守られているため、駅係員はホーム監視に集中できるようになった。</p> <p>⑤固定柵の開口部から転落の可能性があるものの、ホーム進入・進出時の運転士の監視負担が軽減された。</p>
事業者名	静岡鉄道株式会社 鉄道部 安全推進課 (連絡先：054-254-5137)